

CV-10RCV (CV-10用受信ユニット)

取扱説明書

はじめに

この度は CV-10RCV をお買い上げ頂きありがとうございます。

CV-10RCV は、PC の USB 端子に接続して頂くだけで、ペンタイプマップメータ CV-10 からのデータをワイヤレスで受信する事が出来ます。直線はもちろん、曲線等の測定しにくい線分の長さを手軽に測定し、簡単にデータ化できます。

ご 注 意

最初にドライバのインストール「3. ドライバのインストール方法」を行ってください。ドライバがインストールされていない状態では、受信ソフトは動作致しません。

■KOIZUMI

株式会社 小泉測機製作所

〒940-1163 新潟県長岡市平島1-112
Tel:0258-22-0092 Fax:0258-22-0093
URL http://www.fymetrix.co.jp
E-mail koizumi@fymetrix.co.jp

1. 製品仕様

インターフェース	USB仕様バージョン2.0に準拠
重量	約35g (ケーブルは含みません)
外形	41×50×15mm
電源	USBより供給
梱包されている物	CV-10RCV受信部本体・USBケーブル・CD-ROM

2. 各部説明



- ・ USB mini-B コネクタ
ケーブルにてPCへ接続します。
使用ケーブル：USB2.0 ケーブル (A オス ⇄ mini-B オス)
- ・ 受光窓
赤外線受光センサ・LED 表示灯があります。CV-10 からデータを送信する際は、CV-10 の送信部を受光窓に向けてから送信してください。

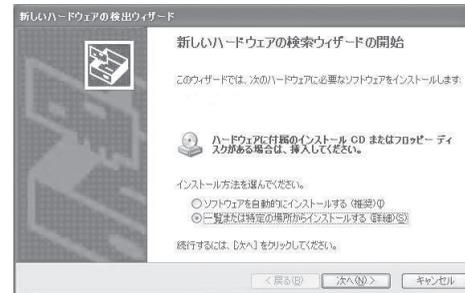
3. ドライバのインストール方法

3-1 Windows 7 の場合

CV-10RCVをパソコンに接続します。お使いのコンピュータがインターネットに接続されている場合は、Windowsが自動的に最適なドライバを検索してインストールします。自動的にインストールが行われない場合は、手動でインストールする必要があります。手動インストール方法については、付属CD-ROM内の文書「ドライバインストール (Win7).pdf」を参照ください。

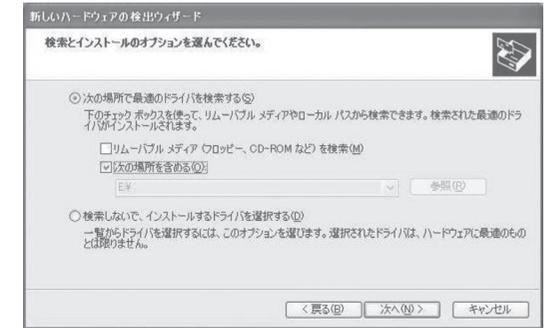
3-2 Windows XP の場合

CV-10RCVをパソコンに接続します。Windowsが新しいハードウェアを感知します。下記のウィザードが実行されます。「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。

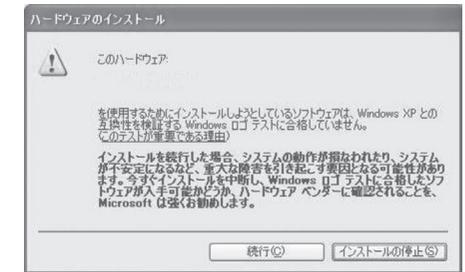


1

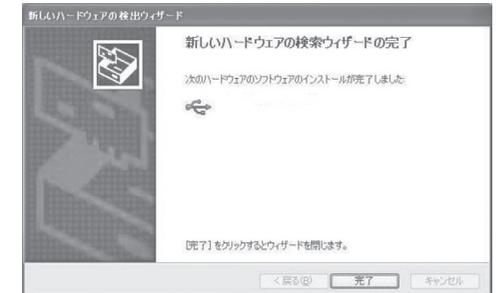
ドライバの場所を指定します。「次の場所を含める」にチェックを入れドライバーが存在するフォルダを指定します。CD-ROMの場合「driver」フォルダ内にファイルがあります。



ドライバのインストールが始まります。XPの場合下記のようなメッセージが出る事があります。本ドライバはMicrosoft社のロゲテストは未取得ですが、動作確認を行った上でドライバを出荷しております。「続行」をクリックしてドライバをインストールしてください。



「完了」ボタンをクリックし、ドライバーのインストール完了です。

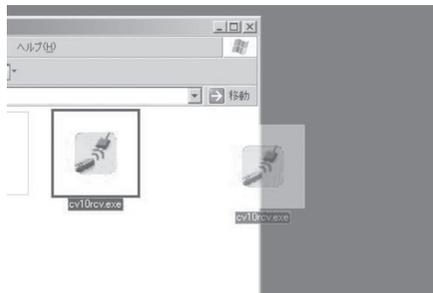


2

4. 受信ソフトウェアのインストール

受信ソフトウェアは、CD-ROM内の「cv10rcv.exe」です。コンピュータ内任意のフォルダにコピーしてご使用ください。一例として、デスクトップ上にコピーする方法を説明します。

- ・マイコンピュータからCD-ROMを選択し、CD-ROM内のファイル「cv10rcv.exe」をデスクトップ上へドラッグ&ドロップします。
- ・デスクトップ上にファイルがコピーされます。コピーされたファイルをダブルクリックすることで受信ソフトが起動します。



ドラッグ&ドロップ



デスクトップ上にコピー

5. CV-10RCV の使用方法

計測方法については、マップメータ本体（CV-10）の取扱説明書をご参照ください。

- ・測定終了時、[Trace] キーを押すと同時に、赤外線送信部よりデータ送信されます。CV-10 送信部を受信部（CV-10RCV）に向けてから [Trace] キーを押してください。
- ・正常に受信されると、受信部からもブザーが鳴り、LED が点灯します。
- ・受信に失敗した場合、[Scale] キーを押せば、同じデータが再送されます。

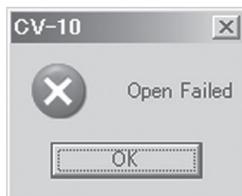
6. ソフトウェアの設定方法

6-1 起動

起動すると、メインウィンドウが現れます。



受信ソフトが正常に起動しなかった場合、右の様なエラーメッセージが現れます。一度CV-10RCVをパソコンから取り外し、再度接続直して下さい。



3

6-2 縮尺の設定

縮尺は、メニューの「縮尺(S)」で選択します。次のようなウィンドウが現れますので、任意の縮尺を入力して下さい。



* ソフト側で縮尺設定する場合は、本体側(CV-10)の縮尺設定は原寸(1:1)として下さい。
両方縮尺設定した場合、重複して縮尺換算されます。

6-3 単位の設定

単位は、メニューの「単位(U)」で選択します。本ソフトで用意されている単位は、mm cm m km in(インチ) ft(フィート) yd(ヤード) mi(マイル) の8種類です。

6-4 キーボード

メインウィンドウのキーボード出力がチェックされていると、キーボードに受信データが送出されます。送出するデータの形式はメニューの「キーボード(K)」で設定できます。



上図の例では、測定結果が 100.123 cmであった場合、マイナス (-)・データ・単位・ENTER のキーが送出されます。つまりキーボードで [-] [1] [0] [0] [.] [1] [2] [3] [c] [m] [Enter] のキーを打ったのと同じ動作をします。

単位を送出させない時は、単位のボックスを「無し」に選択します。確定キーは次の9種類が選択できます。

キーなし・Enter・Tab
Up (↑)・Down (↓)・Left (←)・Right (→)
Add (+)・Sub (-)

7. ソフトウェアの使用方法

ここでは実際の使用方法として、Excelにデータを取り込む方法を説明します。

①Excelと受信ソフトを立ち上げます。

②縮尺とキーボードの設定を行います。この例の場合、設定は以下の通りです。

縮尺 : 1
キーボード出力: チェック
キーボード設定: 直前キー なし
単位 あり
確定キー Down

③Excelの入力したいセルをクリックしてアクティブにします。

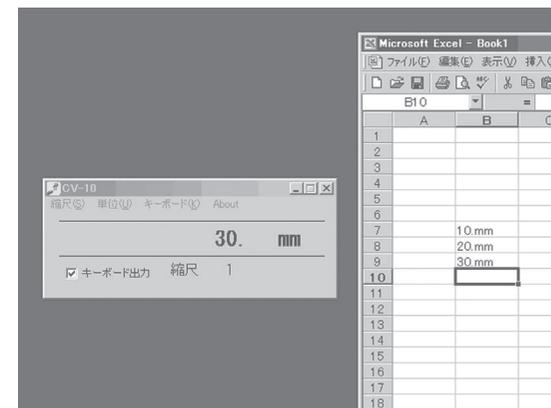
④測定データを受信すると、メインウィンドウに受信データが表示されます。受信データはキーボードにも送出されます。(6. ソフトウェアの設定方法 参照)

⑤③でExcelの特定のセルがアクティブになっているので、そこにデータが入力されます。

例えば10mmの長さを測定した場合、キーボードで [1] [0] [m] [↓] と打ったのと同じ動作をしますので、セルに10mmとデータが入りカーソルが下に移動します。

⑥さらに測定を繰り返すと、データが入ってセルが下に移動していきます。

- * キーボードを介してExcelに入力しますので、日本語入力システムがオンになっていると正しく動作しません。
- * この例の場合、確定キーを [Enter] にしても同じ結果になります。また [Right] にするとセルが右の方向に移動していきます。



4

5